

採用活動の実態調査

(2021年8月実施)

採用活動の実態把握を目的として、CareerMapをご利用中の採用責任者様に対して採用状況に関するアンケート調査を実施しました。

調査概要

■調査概要

実施時期: 2021年8月19日～9月9日

回答対象企業: 新卒採用を

CareerMapで実施している企業様

回答社数: 1652社

回答者: 企業の人事・採用責任者

調査方法: メール送信後、アンケート
フォームへのご回答

サマリー

採用に関しては、昨年よりも意欲的な企業が増えて
いる、という調査結果となった。
「採用予定なし」と答えた企業が全体の4.1%と前回
の13.6%から9.5ポイント改善している。

採用予定人数についても、5名以上の複数人数を採
用する企業の割合が28.9%と約3割となっている。

中でも、飲食業界については、昨年の採用活動を途
中でストップした影響もあり、5名以上の複数人数採
用企業が47%と全体の半数となり、採用活動の復活
を強く印象づける結果となった。

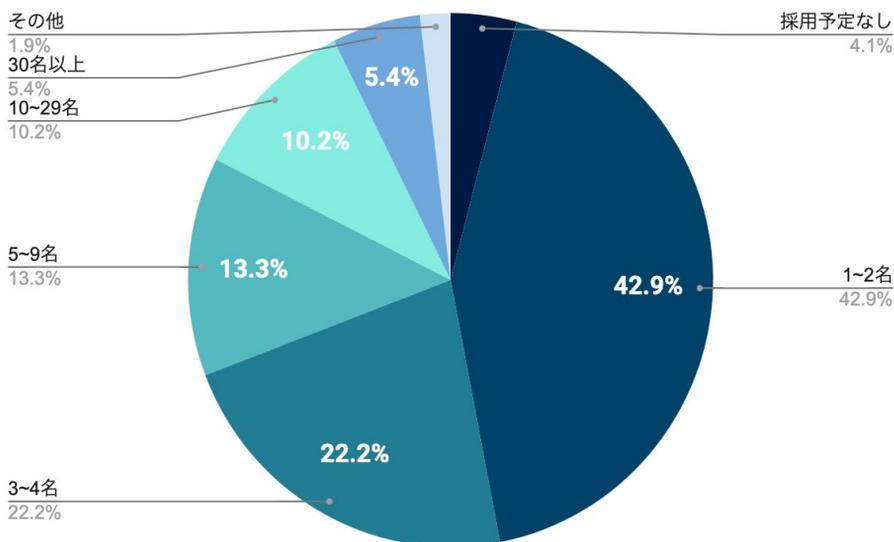
採用充足度についても、21年卒は採用充足100%と
答えた企業が3割程度あったのが、22年卒につい
ては1割にとどまっている。一方、採用充足が0%未
満と答えた企業(ほぼ採用ができていない)が、4割と採
用意欲がまだまだある企業が明らかに増えている。

コロナ禍の中での初めての採用活動だった昨年と比
較しても、影響を受けての採用活動の変更につい
ては、今年度はほとんど見られない。

採用活動については、オンラインが主流だった
昨年と比較して、今年度は感染対策にも慣れ、
オンライン実施とリアル実施の割合が逆転し、む
しろリアルが主流の活動に戻りつつあるようだ。

◆今年度(2022年3月卒業生)の採用目標人数について

回答企業全体で見ると、1~2名の採用が最も多く4割以上。採用予定無し企業が、21卒採用の13.6%より大きく減少して4.1%であった。

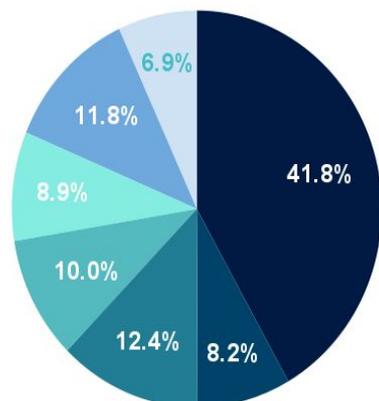


◆今年度(2022年3月卒業生)の採用充足状況について

21卒では、採用充足100%と答えた企業が3割だったが、22卒に関しては、採用充足100%企業は11.8%。まだ充足していない採用できていない企業が4割と採用市場の活気の兆しが見える。

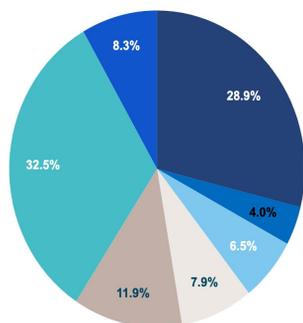
22卒採用充足状況

- 0%~19%程度充足
- 20%~39%程度充足
- 40%~59%程度充足
- 60%~79%程度充足
- 80%~99%程度充足
- 100%充足
- その他



21卒採用充足状況

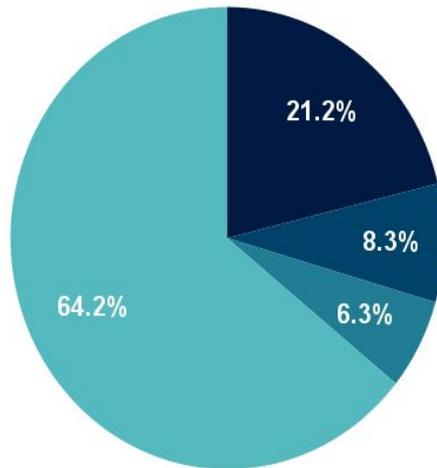
- 0%~19%程度充足率
- 20%~39%程度充足率
- 40%~59%程度充足率
- 60%~79%程度充足率
- 80%~99%程度充足率
- 100%充足
- その他



◆今年度(2022年度3月卒業生)の内定辞退について

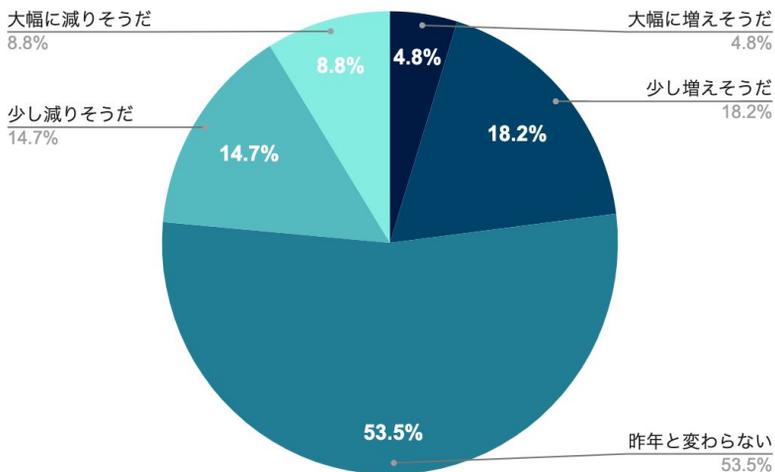
内定辞退がなかった企業が65%近くと、依然高い数値であった。

- 大学生の内定辞退があった
- 専門学生の内定辞退があった
- 大学生、専門学生ともに内定辞退があった
- 内定辞退は無い



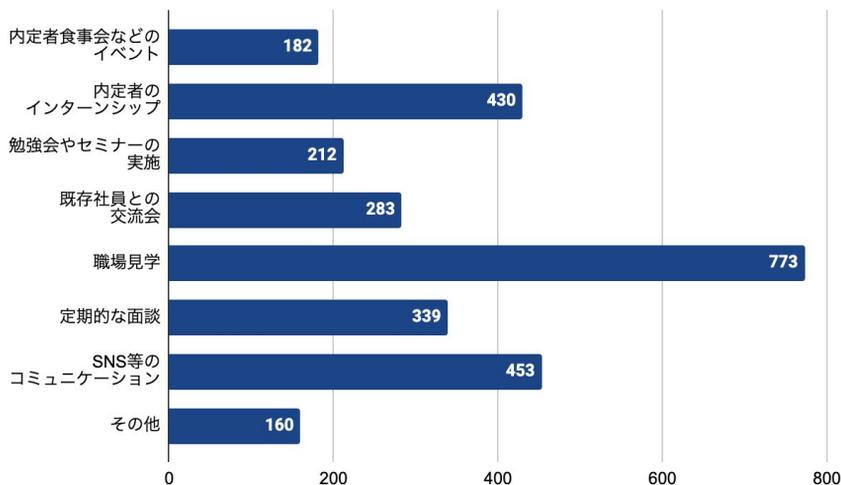
◆内定承諾者数の昨年度(2021年3月卒業生)比較

昨年より内定承諾数が増えそうだという企業が23%、昨年より減りそうだという企業は23.5%となっており、ほぼ同数という結果。



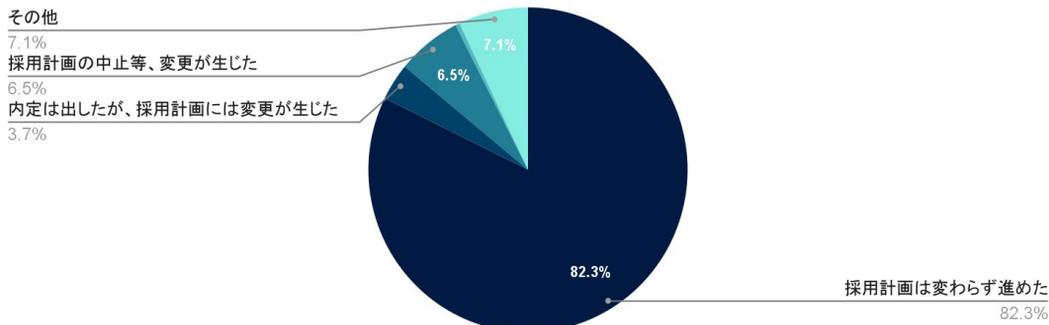
◆内定辞退への対策

職場見学や内定者のインターンシップという基本的な対策に加え、SNSでのコミュニケーションという手段が台頭している。



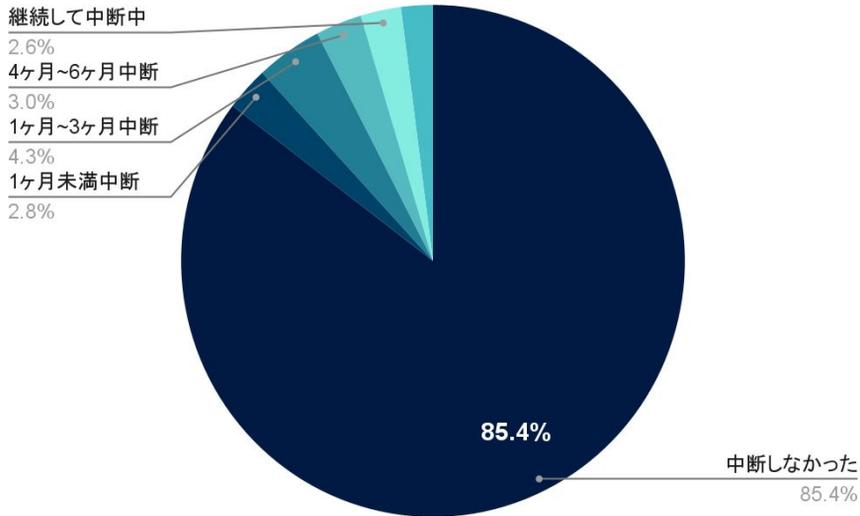
◆コロナによる、採用・内定への影響について

採用計画に変更が生じなかった企業が8割以上と、昨年度の65%よりも高い数値となった。コロナ禍の再流行を見通した採用計画を当初より立てていた企業が多いのではないかと推察される。



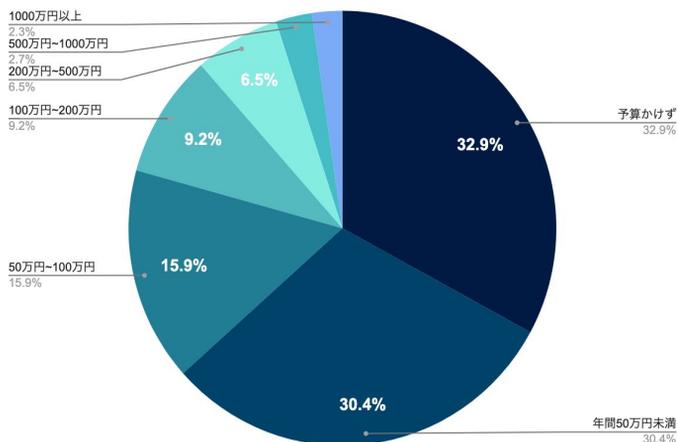
◆コロナの影響による採用活動の中断期間について

85%以上の企業が中断しなかったと答えている。オンラインでの採用活動など、コロナ禍でも活動できる方法が浸透しはじめていることが伺える。



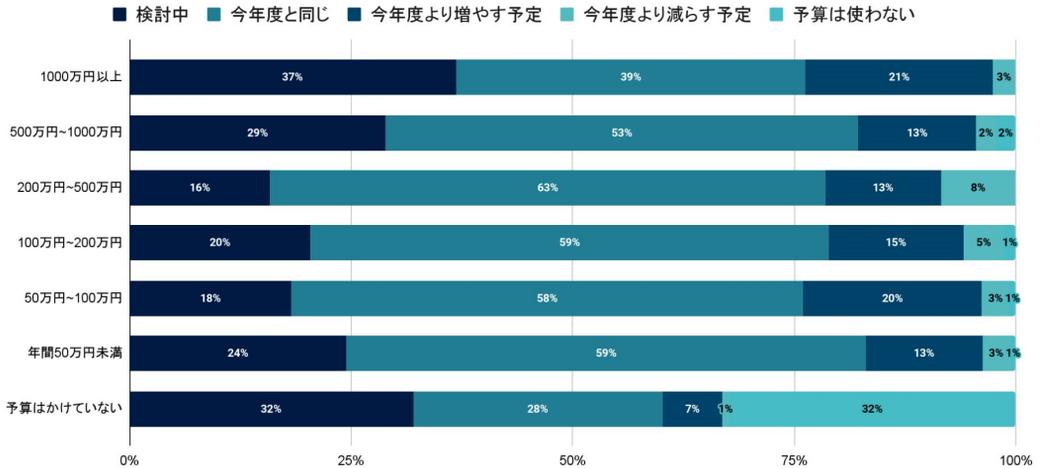
◆22年卒採用の採用予算について

採用に予算をかけない企業が32.9%と、年間50万円以下の採用予算企業が30.4%となり、専門学校生の採用に関しては予算をかけない企業が6割。



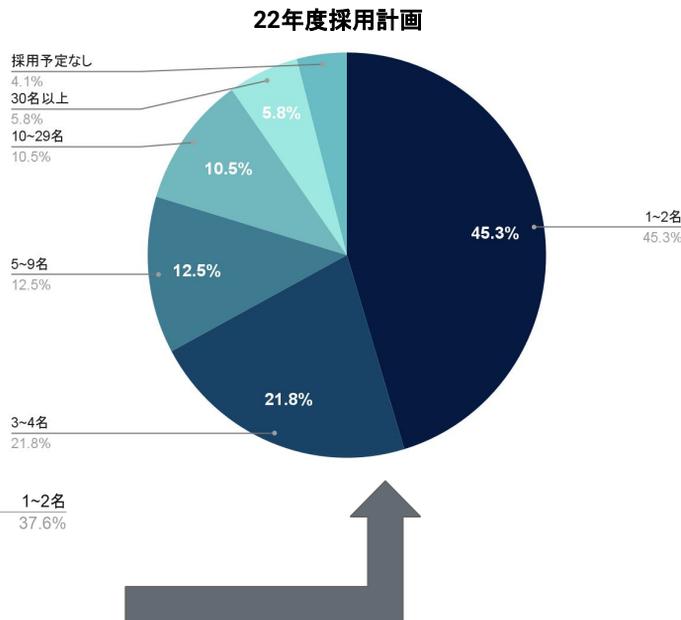
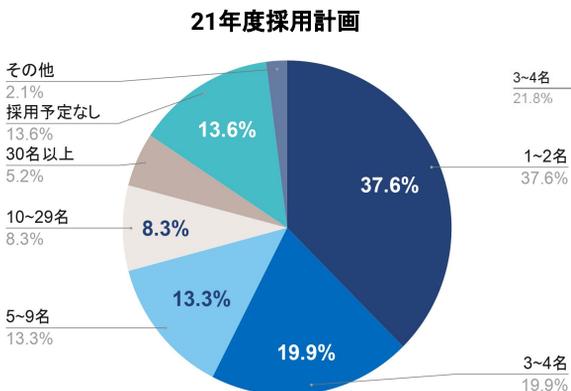
◆次年度(23年卒採用)の採用予算について

22年度採用に予算を掛けた企業のうち「今年度と同じ」と答えた企業が最も多い。予算を減らす、予算は使わないという企業は比較的少数派に留まり、引き続き採用活動を重視する企業が多いことが分かる。



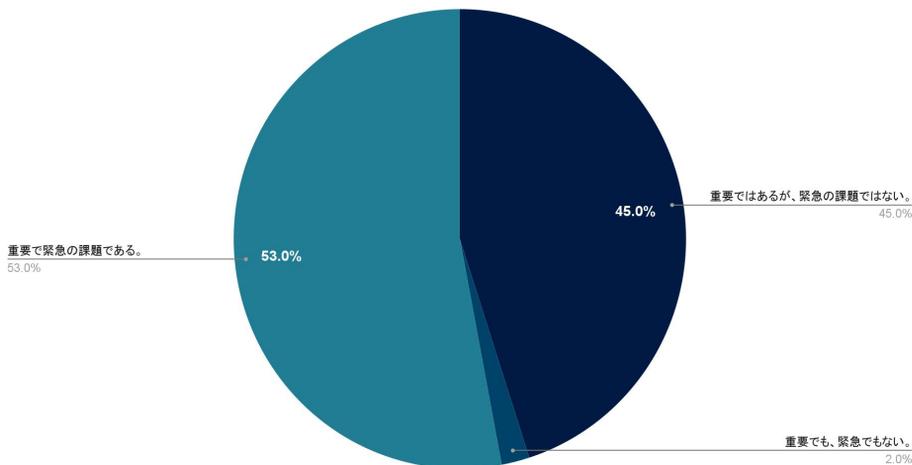
◆次年度(22年度)の採用計画について

21年度と比較すると採用予定なしが13.6%から4.1%と9.5pt減っている。また1~2名という少数採用企業の割合も37.6%から45.3%に増えており、採用予定なし企業がこの少数採用でも採用する意欲を見せていると考えられる。



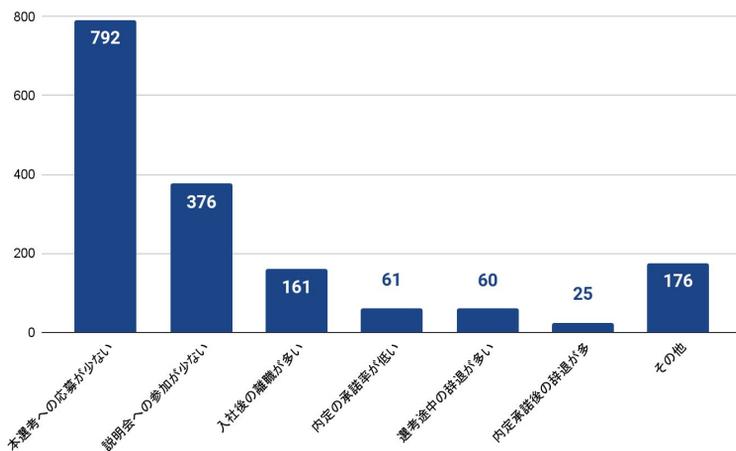
◆採用活動の重要度×緊急度

重要かつ緊急という企業が53%、重要ではあるが緊急でないが45%。
ほぼ全ての企業において、採用が重要である、ととらえていることがわかる。



◆最も課題となっている採用プロセス

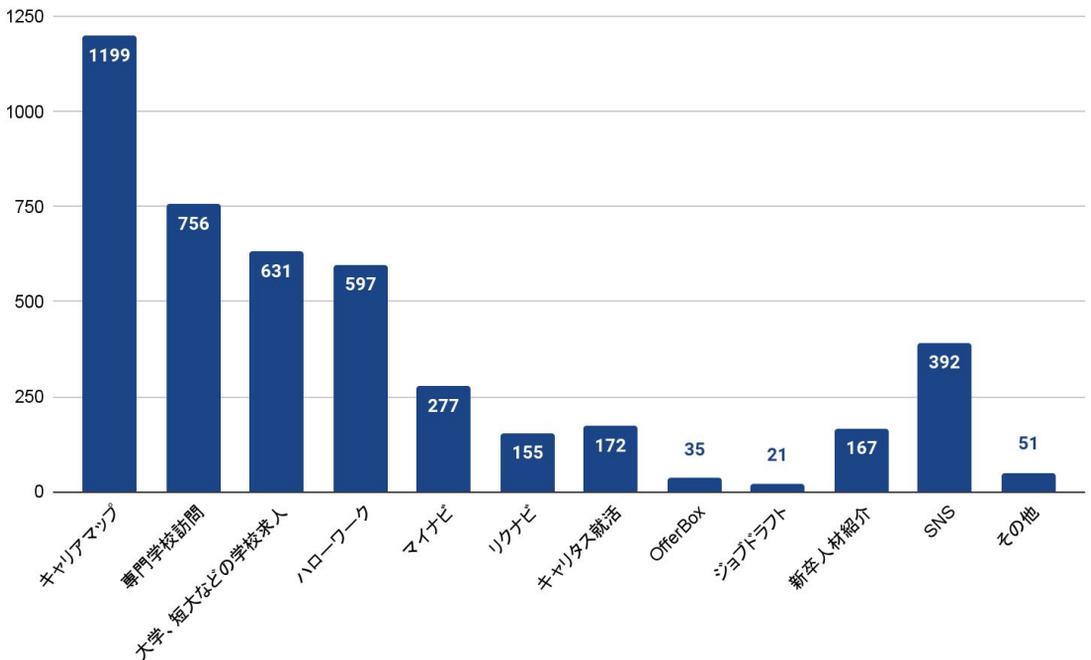
選考や説明会への応募が少ない事を課題とする企業は最も多く、母集団形成の課題が大きい事が伺える。



◆新卒採用の活動方法について(複数選択可)

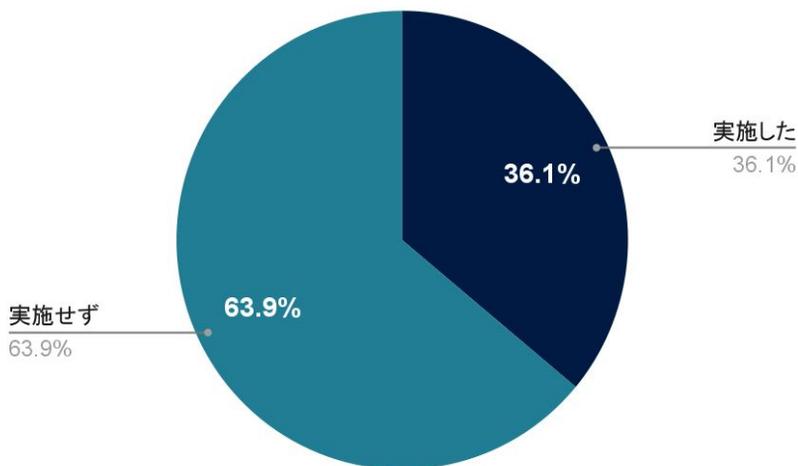
CareerMap(専門学校卒向け)が最も多い活動方法。

公式導入校の場合学内システムとして利用されているため、必然的な結果といえる。専門学校訪問、短大・大学求人、と続くので、上位3つについては、全て学校に紐づいた採用活動となっている。



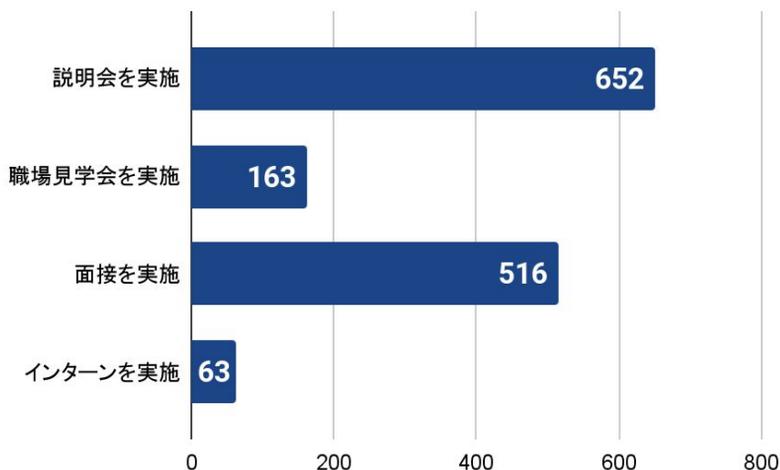
◆オンラインでの採用活動実績の有無

オンライン採用を実施した企業が36%と、昨年度実施した企業が57%という結果と逆転する形となった。コロナ禍での採用活動に慣れ、逆にオンラインからリアルへ戻す動きが出てきている。



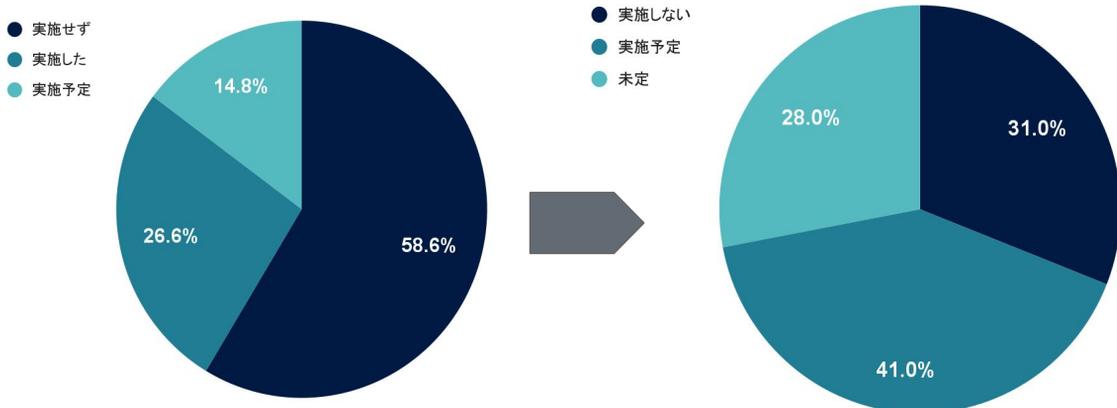
◆オンラインでの採用活動の内容

オンライン実施が一番多かったのは説明会という結果であった。昨年からの多くの学校主催の説明会もオンラインに切り替わった影響が伺える。



◆インターンシップの開催状況について

22年卒についてはインターンシップを開催しなかった企業が約6割を占めていたが、23年卒では実施しない企業は約31%と半減している。

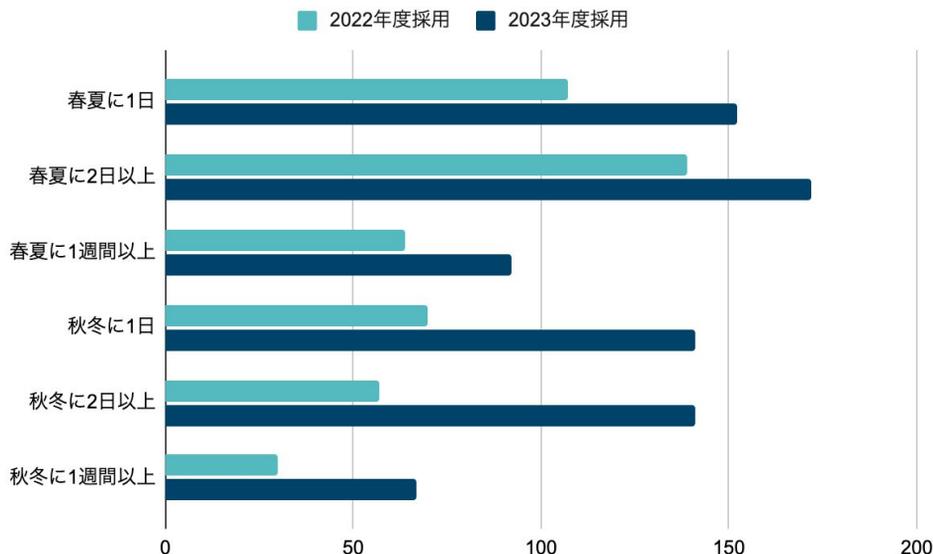


22年度インターンシップ実施計画

23年度インターンシップ実施計画

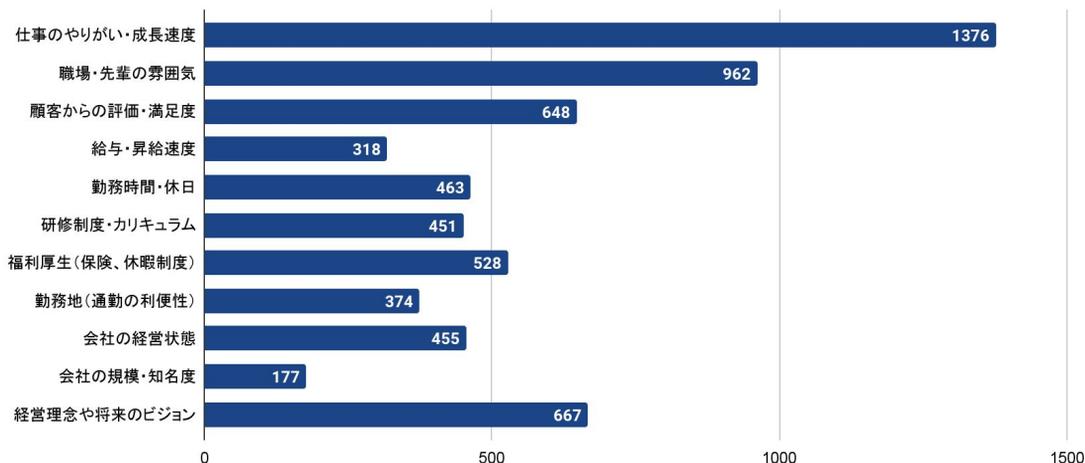
◆インターンシップの開催時期・日程について

22年卒と同様、春夏という早めの段階で実施する企業が依然多い傾向。1週間以上とい



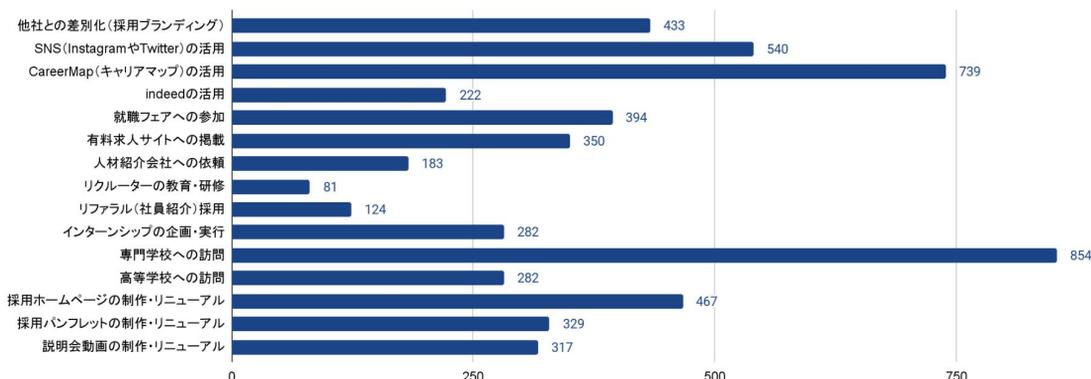
◆就職活動で学生に重視してもらいたい項目

「仕事のやりがい・成長速度」「職場・先輩の雰囲気」「経営理念や将来のビジョン」がトップ3項目となった。



◆23年卒の採用で重点をおく項目

CareerMapや学校訪問は例年上位に入る項目であるが、SNSの活用や採用HPの見直しなど魅力の情報発信重点を置く企業も多い。



Career Map[®]